



第88期報告書

自:2020年4月1日 / 至:2021年3月31日

0テレホールディングス

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は続き、企業経営ばかりではなく人々の暮らしにも影響が及んでいます。コロナ禍は当社グループにおいても様々な影響を及ぼし、2020年度第2四半期の連結決算では中間期として12年ぶりに赤字決算に陥り、株主の皆様にご心配をおかけしました。その後、放送収入の持ち直し、映画作品のヒット、インターネット事業などの伸びを背景に当社グループの当連結会計年度における当期純利益は一定規模の黒字を確保することができました。

こうした経営環境の厳しい状況を受け、当社グループは去年11月に①「デジタル化の加速」②「収支構造の抜本的な見直しと生産性向上」③「グループ事業の強化」を3本柱とする「新しい成長戦略」を策定しました。今年度は、この戦略に基づき2020年代を通して当社グループが飛躍的に発展していくための足掛かりとなる重要な年と位置付けます。コンテンツ制作のための戦略的投資でデジタル領域への取り組みを加速させるとともにコロナ禍を乗り越える事業を推進し、同時にグループ事業の底上げと強化で2020年代半ばまでに非放送事業の収入比率を50%以上にすることを目指します。また、報道機関の使命として持続可能な未来に貢献するため、グループを挙げてサステナビリティ実現に向けた方針の策定を予定しています。「テレビを超える」のスローガンのもと改革を強力に推進していく決意です。

当社グループの基幹会社である日本テレビ放送網は、コロナ禍により前例のない規模で編成の変更を余儀なくされた局面も

ありましたが、全日帯、ゴールデン帯、プライム帯の各時間帯でトップを維持し、年間で10年連続、年度では8年連続の個人視聴率三冠王を獲得しました。動画配信事業の定額制配信サービスHuluは有料会員数を大きく伸ばすなど堅調な成長を遂げているほか、映画事業では、コロナ禍にもかかわらず「今日から俺は!!劇場版」と「新解釈・三國志」がそれぞれ興行収入で53億円超、40億円超の大ヒットとなりました。当社グループは今後も「最強のコンテンツ制作集団」として邁進してまいります。

当社は、積極的な事業展開のための内部留保との調和を図りながら、継続的で安定的な株主還元を行うことを基本方針としております。当期の配当につきましては、年間配当35円から、すでに実施済みの中間配当10円を差し引いた1株当たり25円を期末配当とさせていただきます。株主の皆様には、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月



日本テレビホールディングス株式会社

代表取締役 会長
大久保 好男



代表取締役 副会長
小杉 善信



代表取締役 社長
杉山 美邦

CONTENTS 目次

株主の皆様へ	01
番組	02
報道・映画・イベント	03
スポーツ・海外事業・アニメ・IPビジネス	05

日本テレビホールディングスのサステナビリティ	07
VTuber事業・日テレHR・Hulu	09
営業の概況・連結財務諸表・ドラマ×eコマース連動	11
ティップネス・通販	13

番組

8年連続・年度個人視聴率三冠王を獲得!

日本テレビは2020年の「年間」に続き、「年度」でも個人視聴率・コア層（男女13～49歳）視聴率共に三冠王を獲得しました。個人は8年連続で、新記録を達成（日本テレビとフジテレビが持っていた7年連続を更新）、コアは9年連続となります。ネットワーク全体では、日本テレビ系列26地区中25地区で個人視聴率・三冠王を獲得しました。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、東京オリパラ、プロ野球などスポーツイベントが軒並み延期・中止となり、また、レギュラー番組のロケや収録、連続ドラマ撮影が大きな影響を受けたことで、前例のない編成変更の規模となりました。こうした中で、2020年4月より、全国視聴率・視聴人数の計測が始まり、「より多くの人に、より良い番組を見てもらう」施策を推し進めてきました。2021年度も、新型コロナウイルスの影響は不透明ですが、「生活者ファースト」を徹底し、生活者のさらなる信頼を獲得し、テレビの可能性を広げる番組編成を行ってまいります。

「年度」でも三冠王を獲得。これからも良い番組をお届けします。



日テレ
2020
年度
視聴率

全日
6:00～24:00
4.6%

ゴールデン
19:00～22:00
7.0%

プライム
19:00～23:00
6.6%

(ビデオリサーチ調べ・関東地区個人視聴率)

2021年度4月期新番組について

「ヒューマングルメンタリー オモウまい店」
毎週火曜日 19:00～19:56放送



中京テレビ制作。「びっくりサービス」から店主の生き様までを描く新ジャンルのヒューマングルメンタリー番組です。

「smash.presents MUSIC BLOOD」
毎週金曜日 23:00～23:30放送



アーティストを迎え、自身の中に「血液」として流れる音楽原体験を紐解く音楽コンテンツ。話題となる連動展開も企図します。

「ゼロイチ」
毎週土曜日 (1部)10:30～11:45 (2部)11:55～13:25放送



週末が楽しくなる情報&トレンドを「ゼロイチ」で生み出す発信型情報バラエティです。

報道 コロナ禍で視聴者のファーストチョイスに

2020年度の「news every.」は、年度の個人視聴率・コア視聴率はいずれも歴代最高でした。コロナ禍の在宅勤務で、普段は夕方のニュースを視聴していない方も含め高い支持を集め、各局が同時時間帯でのぎを削る夕方のニュース番組の中で先頭を走っています。要因の第一は、藤井貴彦キャスターの「命を守るための呼びかけ」があげられます。「私達は2週間後の未来を変えることができます」「命より大切な食事会やパーティはありません」「不用意に生活エリアを越えた移動を



視聴者に呼びかける藤井貴彦キャスター



「ナゼナニ??」コーナー

しないこと、これが誰かの故郷を守ることに繋がります」など、誰かを非難するのではなく、どう行動をするべきかを冷静に呼びかけたメッセージが視聴者の大きな共感を集めました。SNSなどで広く共有され、他メディアから取材されるなど、社会的に高い評価を得ました。第二の要因は、視聴者の関心に応じたテーマ構成をしたことです。解説コーナーの「ナゼナニ??」や「生活への影響」「専門医師の解説」「海外の動き」などに分類し、コロナをめぐる情報をきめ細かく、なおかつ速く正確に伝えていることが支持されています。

未来へのチカラとなる3.11報道

東日本大震災から10年を迎え、「情報ライブ ミヤネ屋」と「news every.」を合体し、さらに「news zero」と「真相報道 バンキシャ!」のキャスターも加わって、5時間生放送の大型番組を放送しました。キャスターがかつて取材した人々を再訪することで、この10年間に生み出された解決すべき課題が見えてくるのではないかと、その先に新しい「未来」があるのではないかと、という視点で制作しました。コロナ禍のもと、キャスターの被災地入りは取り止めたものの、リモート取材に多くの方々から協力を頂き、逆に力強い姿や温かい言葉に勇気づけられて涙するキャスターもいました。私たちは今後も復興に向けた道のりの取材を続けていきます。



2021年3月11日放送の大型番組「未来へのチカラ」

映画

「今日から俺は!!」「新解釈・三國志」コメディ作品が日本中を明るく照らす!



「竜とそばかすの姫」
2021年7月公開予定
©2021スタジオ地図

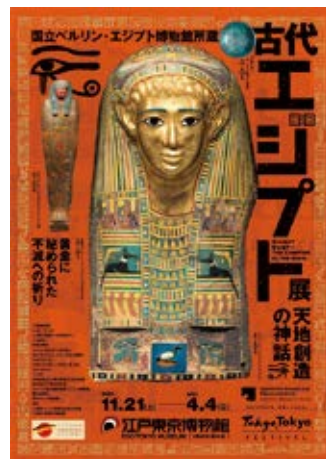


「新解釈・三國志」
©2020映画「新解釈・三國志」製作委員会

2020年度の映画界はコロナ禍の影響による緊急事態宣言により全国の映画館一斉休業という未曾有の事態があった1年となりました。厳しい環境の中、大ヒットドラマの映画化である福田雄一監督作「今日から俺は!!劇場版」(7/17公開)は興行収入53.7億円の超特大ヒット、2020年度実写映画No.1の記録となり、「今日俺」旋風を巻き起こしました。夏の「今日俺」に続き、お正月興行でも、同じく福田雄一監督作「新解釈・三國志」(12/11公開)が興行収入40.1億円超(3/27時点)の大ヒットとなりました。2021年度もアニメ界の巨匠・細田守監督最新作「竜とそばかすの姫」(7月公開予定)、話題の大ヒットドラマの映画化「あなたの番です 劇場版」(12月公開予定)ほか、強力なラインナップを予定しております。

イベント コロナとの闘い 未来の新しいイベントを模索

2020年度は、コロナとの闘いでした。主だったところでは、舞台「天使にラブ・ソングを」、「丸美屋食品ミュージカルアニー2020」、「ボストン美術館展」、舞台「巖流島」、「バンクシーって誰?展」、「ROCK AX」などが中止や延期を余儀なくされました。一方で、新しいエンターテインメントも数多くお届けしてきました。リアル会場とネット会場の同時開催を実現した「ねごかわいいだけ展 ザ・ディスタンス」、人気キャラのユニークな美術展「ミッキーマウス展 THE TRUE ORIGINAL & BEYOND」、海外からの奇跡的な輸送を成功させた「古代エジプト展 天地創造の神話」などには多くのお客様に足を運んで頂きました。コロナとの闘いは続きますが、新型アイスショー「LUXE[リュクス]」や、スペクタクル電影活劇「魔界転生」などを企画、新たなイベントの形を模索していきます。どうかご期待下さい。



スポーツ

「箱根駅伝」「全国高校サッカー選手権」 コロナ禍の大型スポーツ中継



13年ぶり7回目の総合優勝を果たした駒沢大学

観戦目的での外出を控えていた
たくための啓蒙を実施

コロナ禍における初めての年末年始。民間放送43社として主催者の一翼を担う「全国高校サッカー選手権」は、準々決勝までの観客制限、準決勝・決勝の無観客開催を余儀なくされました。会場に行けない方々、帰省ができず故郷の代表校を放送

で見られない方々に向けて、ライブ対応の試合数を増やしてTVer配信を実施。また決勝の放送では、若年層(13~19歳)の視聴率が過去1年の全局のスポーツ中継の中で1位(7.0%・関東)を記録しました。また「箱根駅伝」では、主催者と連携しながら「応援したいから、応援にいかない。」というキャンペーンを実施。大会が無事に開催されることに寄与するとともに、放送の視聴率でも個人19.1%、世帯32.3%(往路復路平均・関東)と、ともに歴代最高の数字を記録しました。両イベントともに、コロナ禍の中、改めてテレビ局の果たす役割と責任を再認識する機会となりました。

海外事業

新作が絶好調!フォーマットビジネスの収益拡大へ

2020年度はコロナ禍で世界中の新作制作が停滞した中で、日本テレビのバラエティフォーマット番組は「コロナ禍でも作り易い」「ファミリーターゲットで巣ごもり需要に合致」との評価を受けて海外販売開始から異例の短期間で制作に至りました。「音が出たら負け」はオランダ大手民放局SBS6金曜プライム枠、正月特番「ウルトラマンDASH」の人気コーナー「そっくりスイーツ」はオランダで視聴率トップ

の国営放送局NPO日曜プライム枠で現地版が放送され、話題となりました。2021年度も、イギリスとの共同開発番組など新作が控えており、更なる収益拡大を目指していきます。



「そっくりスイーツ」



「音が出たら負け」

アニメ

海外収入を中心に過去最高記録更新!



日本テレビは、2020年10月に初めて「アニメ」と名のつく「アニメ事業部」を設立しました。グループを挙げてアニメビジネスに注力していきます。2020年1月に大きな利益を上げた「魔術士オーフェンはぐれ旅」の続編「魔術士オーフェンはぐれ旅 キムラック編」を2021年1月リリース。海外展開で大成功を果たしました。また、世界的な巣ごもり需要もあり、「HUNTER×HUNTER」の中国展開であるMMORPGゲームや北米への番組販売、商品化展開等が絶好調で、アニメビジネス全体の収入も、過去最高記録を更新しました。2021年4月にスタートした「EDENS ZERO」は久しぶりに全国放送する大型作品で、日本ではHulu、世界では主にNetflixで配信予定です。2021年度もアニメビジネスの快進撃が続きます。

「魔術士オーフェンはぐれ旅 キムラック編」

©秋田禎信・草河遊也・TOブックス/魔術士オーフェンはぐれ旅製作委員会

IPビジネス

テレビ局の目指すビジネスの新しい形「IP」

地上波放送のビジネスモデルから発想を転換し、テレビ局の持つコンテンツ制作力、プロモーション力を生かし、企画立案時から多面的なビジネスを想定した「コンテンツブランド＝IP」を作りました。それをもとに、番組、配信、商品化、コンサート、イベントなどを実施。それぞれが叶えたい夢に向かいながら、ブランドの立ち上げを目指す高校生のドラマでは「DASADA」というブランドを作り、その洋服や商品を販売、ファッションショーに参加しました。

さらに舞台、コンサートを開催するなど、多くのビジネスで成功しました。また、新しいスターを生み出す過程を「ヒットIP」と考え、ソニーミュージック、JYPエンターテインメントのNizi Projectと組み、国民的な人気グループNiziUを生み出すことに成功しました。



日向坂46、初的主演ドラマ「DASADA」 ©「DASADA」製作委員会



NiziU © Sony Music Labels Inc./JYP Entertainment

日本テレビホールディングスのサステナビリティ

「持続可能な未来」への貢献

気候変動や貧困問題など、世界的な課題を解決するために企業が果たす役割が重視されています。私たちは、報道機関の使命として常にサステナビリティ(持続可能性)を意識し、以前から「24時間テレビ 愛は地球を救う」や「カラダWEEK」展開など、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)達成のための活動に取り組んできました。

世界的な課題解決がより強く求められる中で、2021年度はサステナビリティへの取り組みを強化することにしました。まず、「2021年度経営方針」の重点項目として「持続可能な未来への貢献」を掲げました。SDGsへの取り組みを推進するための新しい組織を作り、取り組みを発信するためのホームページを新設しました。さらに昨年スタートした、より良い未来を作るためのキャンペーン「Good For the

Planetウィーク」展開を強化し、幅広い番組で持続可能で多様な社会の実現に向けた情報発信を行っていきます。

サステナビリティ実現に向けてグループを挙げて取り組むため、温室効果ガスの削減問題など具体的な方針について今年度中に策定する方向で準備を進めています。グループ全体のビジネスを環境、社会、ガバナンスの視点で見直し、思い切った改革を進め、成長につなげていきます。持続可能な世界の実現のために、企業としての責任を自覚し、取り組んでいきたいと考えています。



日本テレビホールディングス株式会社
代表取締役 社長 杉山 美邦

「Good For the Planetウィーク」#今からスイッチ



日本テレビは、2021年5月31日から6月6日までを「Good For the Planetウィーク」と題し、新しいキャンペーンを行いました。SDGsの17項目を中心に、人のため、暮らしのため、社会のため、そして未来のためにできることを、視聴者の皆さんと一緒に考えていく1週間です。「Good For the Planet」は、昨年スタートしましたが、今年は取り組みを強化。「#今からスイッチ」をテーマに、40以上の番組が、様々なジャンルの「未来にいいこと」「地球にいいこと」を発信しました。また、「ザ!鉄腕!DASH!!」などのバラエティ番組やニュース情報番組では、通年でこの取り組みを進めます。

社会貢献活動の推進

24時間テレビが43回目の放送



2020年度寄付金総額

8億6,626万9,827円

43年間の累計寄付金総額

405億6,415万1,601円

24時間テレビの初回から行っている福祉車両の寄贈事業。昨年度の寄贈台数は212台で、累計台数は11,618台になりました。前年に始めた障がい者スポーツキットの寄贈事業は2年目に入りました。東京2020パラリンピックを控えていることもあって、パラスポーツキットは寄贈先の全国の児童・生徒達に活用していただいています。新しい取り組みとして、子ども食堂への支援を開始しました。コロナ禍で経済的に困窮するケースは増加傾向にあり、食事やフードパントリーだけでなく、子どもの居場所づくりも含めた支援が必要とされています。

生活介護事業所「鼓ヶ浦あゆみ園」に寄贈した福祉車両



新型コロナウイルスを人類が直面している未曾有の危機と捉え、私達は様々な支援を実施しました。最前線で立ち向かっている医療従事者にも支援物資をぜひ届けたいと考え、看護協会にアルコール消毒液を寄贈しました。また、感染症を予防する観点から、より強い施設づくりを目指して保育所で水栓の自動化を進め、幼稚園や中学校に加湿空気清浄機などを寄贈しました。さらに、お年寄りの健康管理に役立てられるよう、全国の高齢者や障がい者の支援施設向けにパルスオキシメーター1,000個を寄贈しました。



パルスオキシメーター

地球環境の保全

CO₂削減・廃棄物削減に向けた取り組み

本社が入る「日テレタワー」と千代田区麹町の「番町スタジオ」では、スタジオ照明のLED化などで継続的にCO₂削減に取り組んでいます。2020年には、義務量より多く削減出来たCO₂の量、3万tを東京都の取り組みに協力して寄付し、2021年に都知事から感謝状を受け取りました。今後も継続的にCO₂削減に取り組んでまいります。モバイルPCの導入等でペーパーレス化を進めているほか、分別された紙ゴミのうち91%を再利用しています。放送で使用する放送用光ディスク等の記録メディアを一元管理し、リユース率は85.7%に達しています。



東京都知事から授与された感謝状

VTuber事業

オンラインイベントが急拡大



Twitterトレンド国内1位となったオンラインイベント「VILLS vol.2」

総勢100名以上のVTuberが参加するテレビ局初のインフルエンサーネットワーク「V-Clan」を設立。“VTuberを次のステージへ”という掛け声の下で、VTuberを活用した多数の番組やイベント、また企業とのタイアップを実現しています。3月に中京テレビ等と共催したVTuberのオンラインイベント「VILLS vol.2」では、前回の開催時からチケット券売数並びに売上も大きく伸び、ネット上ではTwitterトレンドで国内1位、世界6位になりました。

Hulu

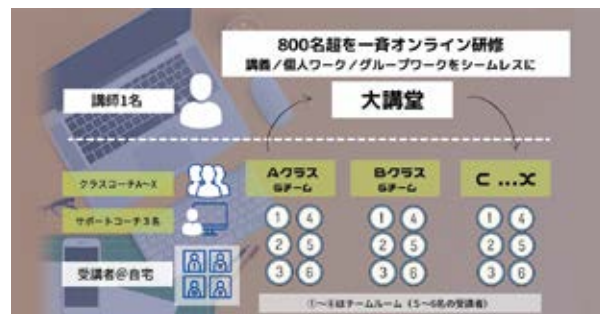
多様なコンテンツ戦略で会員数増加 ライブ配信事業も好調

NTV-Hulu共同製作ドラマ「君と世界が終わる日に」では地上波放送後にシーズン2全6話を独占配信し、会員獲得に大きく貢献しました。他にも、バラエティ番組の見逃し配信拡充、配信に強いバラエティ開発（「東海オンエア特番」「千鳥vsかまいたち」など）、「絶対に笑ってはいけない」シリーズ一挙配信、アーカイブドラマ（「ごくせん2」「怪物くん」など）初配信、大ヒット映画「新解釈・三國志」連動企画、「リコーカップ」で

日テレHR

コロナ禍でオンライン研修増加 多人数でも「個」に寄り添う独自の 運営手法で高評価

「日テレHR」は売上高1.4億円超（昨年比242%）でした。コロナ禍で研修がオンライン化する中で、生放送スキルを活かした独自の運営手法と効果的な動画の活用により、800名超のオンライン研修においても受講者一人ひとりの疑問解消・理解促進を支援し、各社様より高い評価を頂いております。



800名オンライン新入社員研修時の構造例

初のゴルフ配信等、多様なコンテンツ戦略で会員数を伸ばしました。コロナ禍で注目のライブ配信事業にも進出し、「サザン年越しライブ」「福山雅治ライブ」「白石麻衣卒業ライブ」「乃木坂46ライブ」などの音楽ジャンル、「ヒプノシスマイク」「市川海老蔵歌舞伎」などの舞台、「有吉の壁」から誕生した「KOUUGU 維新」ミュージカルなど各種ライブ配信を実現しました。Hulu事業の新たな柱に成長しています。

営業の概況

2020年度連結決算について

- ✓ 2020年度連結決算はコロナにより減収減益
売上高および各段階利益は3Q時予想より改善
 - ・広告収入の下期大幅改善により減収幅縮小
 - ・コロナ禍での徹底したコストコントロールが奏功
- ✓ 広告収入のシェア新記録、デジタル領域が好調
 - ・広告収入のシェアで初の30%超え
 - ・Hulu売上高は前年比120%超、会員数を順調に伸ばす
 - ・「今日から俺は!!」「新解釈・三國志」が国内興収2位、3位を記録
- ✓ コロナ禍の影響ほか
 - ・ティップネスののれん・店舗減損を特別損失に計上
 - ・投資有価証券売却益を特別利益に計上
 - ・東京五輪の権利金に関わる評価損(番組制作費)を計上

当社グループの連結売上高

- メディア・コンテンツ事業
3,643億7,500万円(△5.2%)
- 生活・健康関連事業
206億2,800万円(△42.5%)
- 不動産関連事業
103億700万円(+0.3%)

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用

- 3,568億800万円(△7.0%)
- 営業利益…345億2,600万円(△19.9%)
- 経常利益…429億4,400万円(△12.7%)
- 親会社株主に帰属する当期純利益
…240億4,200万円(△21.3%)

詳細は当社ホームページをご覧ください。

日本テレビホールディングスIR

検索

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

単位:百万円

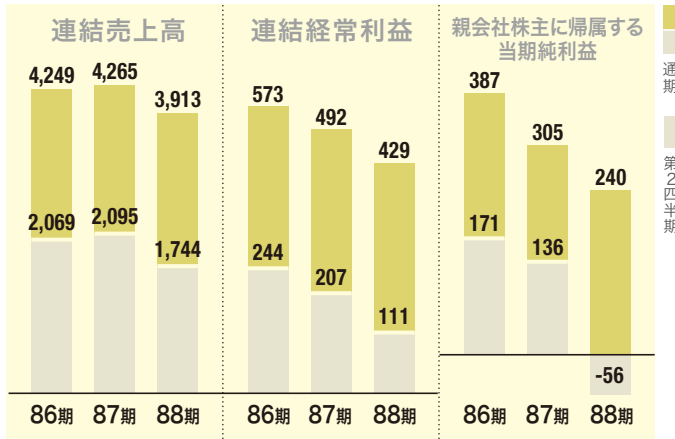
科目	期別	前 期 末	当 期 末
		2020年3月31日現在	2021年3月31日現在
〔資産の部〕	流動資産	258,742	307,784
	固定資産	673,347	724,370
	有形固定資産	275,783	267,921
	無形固定資産	27,931	13,337
	投資その他の資産	369,633	443,110
	資産合計	932,089	1,032,155
〔負債の部〕	流動負債	94,605	104,672
	固定負債	85,732	106,976
	負債合計	180,337	211,648
〔純資産の部〕	株主資本	669,456	687,947
	その他の包括利益累計額	76,189	127,142
	非支配株主持分	6,105	5,416
	純資産合計	751,751	820,506
	負債純資産合計	932,089	1,032,155

連結損益計算書

単位:百万円

科目	期別	前 期	当 期
		自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日	自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日
売上高		426,599	391,335
売上原価		288,576	267,915
売上総利益		138,022	123,419
販売費及び一般管理費		94,910	88,893
営業利益		43,111	34,526
営業外収益		6,687	8,923
営業外費用		592	505
経常利益		49,206	42,944
特別利益		817	30,212
特別損失		4,142	27,723
税金等調整前当期純利益		45,881	45,432
法人税等		15,154	21,854
当期純利益		30,727	23,577
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)		172	△464
親会社株主に帰属する当期純利益		30,555	24,042

単位：億円



連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	期別	前期	当期
		自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日	自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		56,385	41,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		△38,721	535
財務活動によるキャッシュ・フロー		△10,565	△10,953
現金及び現金同等物に係る換算差額		△3	△16
現金及び現金同等物の増減額		7,093	30,663
現金及び現金同等物の期首残高		45,764	53,229
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増加額		371	-
現金及び現金同等物の期末残高		53,229	83,893

(△は減少)

ドラマ×eコマース連動 新たなユーザー体験・マネタイズスキーム開発

「夢みたいな恋したい女たち」は、ドラマ×eコマース (EC) をテーマに、スマホのインタラクティブ動画技術 (動画を視聴した際に、画面をタップする事で様々な体験が楽しめる機能) を活用し、新しいユーザー体験を提供した番組です。地上波で放送したドラマを、公式HP上の配信で視聴すると、服装にタッチポイントが現れ、タップ

すると、コーディネートのポイントを人気スタイリストが解説する動画が流れます。気になったアイテムをタップすれば、そのアイテムのECページ

に遷移して、すぐに購入することができます。“ステイホームでも楽しめるショッピング”として、ユーザーだけではなく広告会社からも、「認知から購買までをシームレスに担う新しい広告商品」などと大きな反響がありました。今後も新たなユーザー体験・スキーム開発に取り組んでいきます。



配信画面上に現れるタッチポイント(白丸)

衣装の解説動画から購入ページにも遷移できます。

ティップネス 安心してご利用いただける環境を整備

フィットネスクラブを運営する株式会社ティップネスは、緊急事態宣言等の発出に伴い、休業や営業時間短縮の対応をしました。引き続き会員の皆様に安心してご利用いただけるよう感染予防対策を実施しています。全店舗の業績見直しと並行して、3月には駒沢大学店を、6月

にはイオンモール川口店をオープンしました。2020年8月に開始した「オンラインフィットネス トルチャ」は会員数を伸ばし、さらなる事業拡大を目指していきます。



ティップネス 駒沢大学店

最新のマシンを揃えたトレーニングエリア

株主優待 「トルチャ 初月無料チケット」 ぜひご体験ください!



人気フィットネス・インストラクターのオンライン・レッスンを、お好きな時にお好きな場所で受けられるトルチャ。1か月に100レッスンまで受けられます。株主様に初月無料でご利用いただける優待券「トルチャチケット」を同封いたしました。ぜひお試しください。トルチャ会員ではないご友人やご家族へのプレゼントとしてもご利用ください。

※トルチャチケットは、単元株以上を保有している株主様にお送りしております。

通販 通販事業部TV通販&ECの多面化展開で過去最高利益

コロナ禍における巣ごもりによって通販需要が高まる中で、ポシュレの商品は健康関連分野で多くの注文をいただきました。特に日テレが独自に開発した「乗ってるだけ!ブルブルポーテ」は年間を通じて好評で、ポシュレ史上最高の売上高を記録しました。食品では毎年好評の「カニ」「おせち」が過去の記録を更新し、多くのリピート顧客を獲得しています。また、企画特番として、人気声優を集めてオリジナル商品を紹介した「超!声優通販バラエティ イケボdeポシュレww」は放送と連動したTwitter展開など新たなプロモーションを試み、好結果をもたらしました。さらに番組と連動したEC事業

「日テレ屋web」では、「有吉の壁」で人気の「KOUGU維新」によるオリジナルグッズが人気を呼ぶなど、番組コンテンツと連動したEC売上高も順調に拡大。通販事業部は2020年度、過去最高の利益を記録しました。今後も日テレならではのオリジナリティあふれる商品をラインナップし通販市場でのさらなる拡大を目指します。

日テレポシュレHP
<https://www.ntvshop.jp/shop/>

日テレポシュレ

検索



「超!声優通販バラエティ イケボdeポシュレww」



「KOUGU 維新」オリジナルグッズ

WHOISBANKSY?



—それはまるで
映画のセットのような
美術展

バンクシーって誰?展

2021 8.21(土) ▶ 12.5(日) [東京・天王洲] 寺田倉庫 G1ビル

[休館日] 10.5◎・12◎・19◎ [開館時間] 11:00~20:00(金・土・祝前日は21:00まで) ※最終入場は閉館時間の30分前まで ※開催情報は変更となる場合があります。最新の情報は公式HPやSNS等でご確認ください。
[主催] 「バンクシーって誰?展」実行委員会 [後援] 品川区 [協賛] 寺田倉庫、DNP大日本印刷、損保ジャパン [協力] 日本航空、日本通運、TOKYO FM、InterFM897 [企画協力] スターヴォックス・エンタテインメント [お問い合わせ] 050-5542-8600 (ハローダイヤル)
[展覧会公式HP] <https://whoisbanksy.jp/> [@whoisbanksy_jp](https://twitter.com/whoisbanksy_jp) [whoisbanksy_jp](https://www.instagram.com/whoisbanksy_jp)

バンクシーって誰



0FL
ART

会社情報

会社の現況 (2021年6月29日現在)

商号	日本テレビホールディングス株式会社 (2012年10月1日付 商号変更)
所在地	東京都港区東新橋一丁目6番1号
設立	1952年10月28日
主な事業内容	株式等の所有を通じて企業グループの 統括・運営等を行う認定放送持株会社
資本金	186億円
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式総数	263,822,080株

取締役・監査役 (2021年6月29日現在)

代表取締役 会長	大久保好男	常勤監査役	吉田真
代表取締役 副会長	小杉善信	監査役	嶋田隆
代表取締役 社長	杉山美邦	監査役	村岡彰敏
取締役	渡辺恒雄	監査役	大橋善光
取締役	山口寿一		
取締役	今井敬		
取締役	佐藤謙		
取締役	垣添忠生		
取締役	真砂靖		

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日

株主名簿
管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

単元株式数 100株

株式に関する手続き

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。

なお、証券会社等に口座がないため「特別口座」に記録されている株主様は、「特別口座」の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

0TEL 日本テレビホールディングス株式会社
NIPPON TV HOLDINGS 〒105-7444 東京都港区東新橋一丁目6番1号

<https://www.ntvhd.co.jp>



Forest Stewardship Council™ (森林管理協議会) の基準に基づき認証された、適切に管理された森林からの原料を含む FSC 認証紙を使用しています。水なし印刷方式を採用するとともに、NON VOC インキを使用しています。